

# 東北地方 1 か月予報

( 2 月 2 6 日から 3 月 2 5 日までの天候見通し )

平成 1 7 年 2 月 2 5 日

仙台管区气象台発表

## < 予想される向こう 1 か月の天候 >

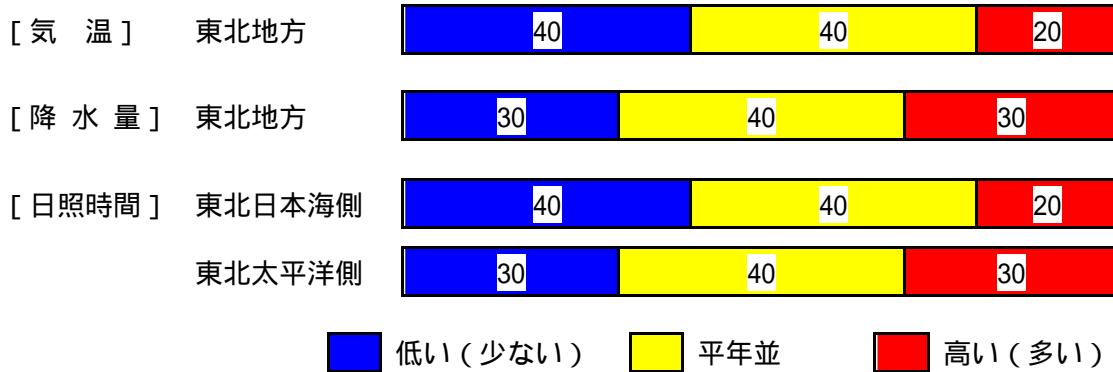
向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

期間の前半は冬型の気圧配置が続き、一時強い寒気が南下しますが、期間の後半は冬型の気圧配置は長続きせず、天気は数日の周期で変化するでしょう。東北日本海側は平年に比べ曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

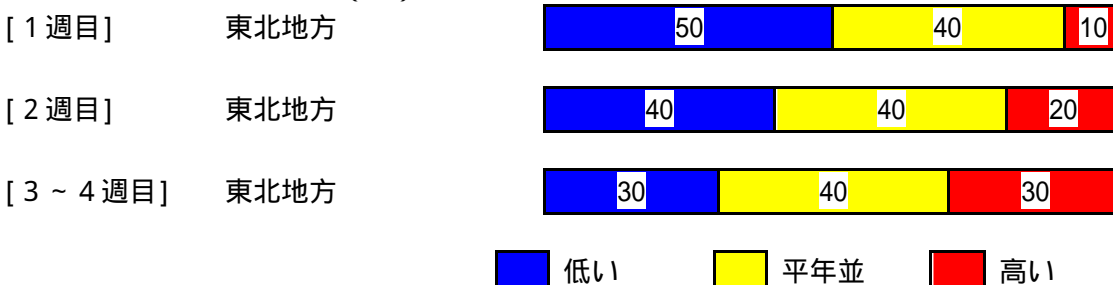
向こう 1 か月の平均気温は平年並か低い、降水量は平年並、日照時間は東北日本海側は平年並か少ない、東北太平洋側は平年並でしょう。

平均気温は、1 週目は低い、2 週目は平年並か低い、3 ~ 4 週目は平年並でしょう。

## < 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 ( % ) >



## < 気温経過の各階級の確率 ( % ) >



## < 予報の対象期間 >

1 か月        :    2 月 2 6 日 ( 土 ) ~    3 月 2 5 日 ( 金 )  
1 週目        :    2 月 2 6 日 ( 土 ) ~    3 月    4 日 ( 金 )  
2 週目        :    3 月    5 日 ( 土 ) ~    3 月 1 1 日 ( 金 )  
3 ~ 4 週目    :    3 月 1 2 日 ( 土 ) ~    3 月 2 5 日 ( 金 )

## < 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日    1 4 時 3 0 分    次回は 3 月 4 日  
3 か月予報 : 3 月 2 4 日 ( 木 )    1 4 時 0 0 分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ( )	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温( )		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
大船渡	2.9	76.0	152.0	1.8	2.4	3.7
新庄	1.4	103.0	98.7	0.2	0.9	2.2
若松	2.3	58.4	123.3	0.8	1.7	3.3
深浦	2.0	70.5	97.0	0.9	1.5	2.9
青森	1.4	67.2	119.4	0.1	0.8	2.3
むつ	0.8	71.0	131.6	-0.4	0.2	1.6
八戸	1.6	46.2	153.2	0.4	1.0	2.5
秋田	2.6	84.0	113.6	1.4	2.0	3.5
盛岡	1.1	68.3	148.9	-0.2	0.5	2.1
宮古	2.4	78.3	163.3	1.3	1.9	3.2
酒田	3.6	92.8	105.5	2.5	3.1	4.5
山形	2.4	60.8	129.4	1.0	1.8	3.3
仙台	3.9	61.7	163.6	2.8	3.5	4.7
石巻	3.1	58.7	169.9	2.0	2.7	3.9
福島	4.2	64.6	160.2	3.0	3.7	5.1
白河	2.9	59.4	164.5	1.6	2.4	3.8
小名浜	5.7	87.5	171.6	4.7	5.3	6.4

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5～+0.5	83～ 111	94～ 107
東北日本海側	-0.5～+0.5	88～ 107	93～ 107
東北太平洋側	-0.5～+0.5	79～ 117	96～ 106

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.7～+0.7	-0.6～+0.6	-0.4～+0.5
東北日本海側	-0.7～+0.7	-0.6～+0.6	-0.3～+0.6
東北太平洋側	-0.7～+0.7	-0.7～+0.6	-0.3～+0.6

< 参考資料（利用上の注意） >

- （１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- （２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10％以下や 60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。
- （３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

# 東北地方 1 か月予報解説資料

平成 17 年 2 月 25 日 仙台管区気象台

## 1．出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月（2 月 26 日～3 月 25 日）：

期間の前半は冬型の気圧配置が続き、一時強い寒気が南下しますが、期間の後半は冬型の気圧配置は長続きせず、天気は数日の周期で変化するでしょう。東北日本海側は平年に比べ曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並か低いでしょう。

### 1 週目（2 月 26 日～3 月 4 日）：

中頃までは冬型の気圧配置が続き、東北日本海側や東北太平洋側の山沿いでは曇りや雪でしょう。東北太平洋側の沿岸部は晴れの日が多いですが、寒気や気圧の谷の影響で曇りの日もある見込みです。

平均気温は低いでしょう。

### 2 週目（3 月 5 日～3 月 11 日）：

冬型の気圧配置が続き、東北日本海側は平年に比べ曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並か低いでしょう。

### 3～4 週目（3 月 12 日～3 月 25 日）：

天気は数日の周期で変化しますが、低気圧の通過後は一時寒気が南下するでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

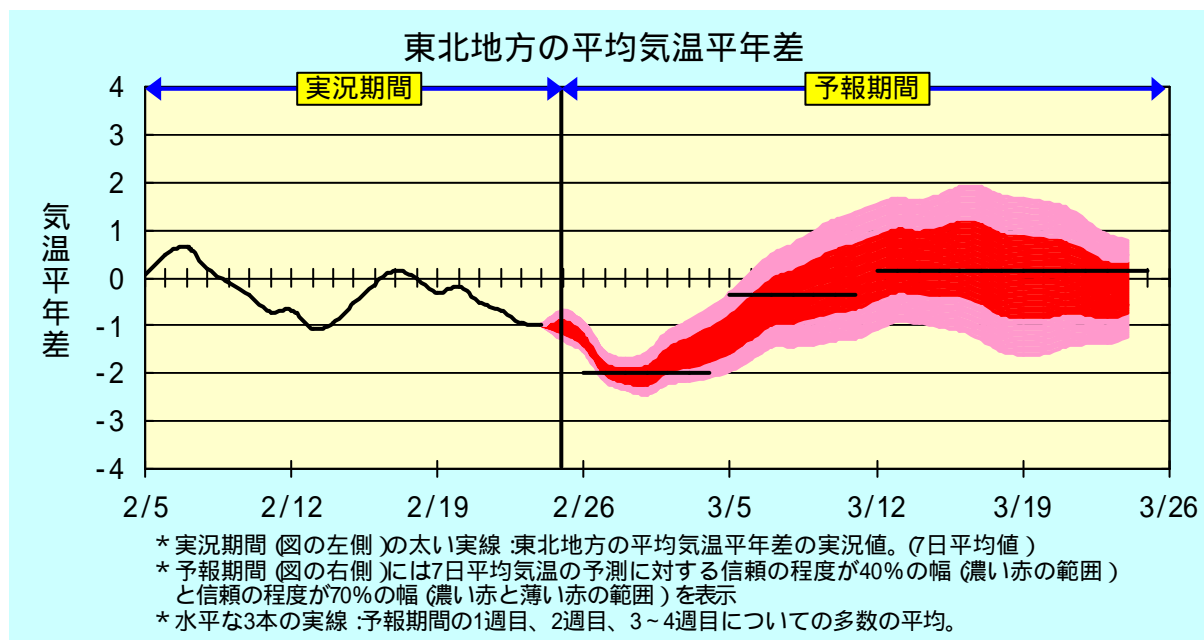
平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	11.3 日	2.3 日	2.7 日	6.3 日
東北太平洋側	17.9 日	4.4 日	4.5 日	9.0 日

## 2．東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目を「低い」、2 週目、3～4 週目を「平年並」と予測している。予報は、その他の資料から 2 週目を「平年並か低い」とする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

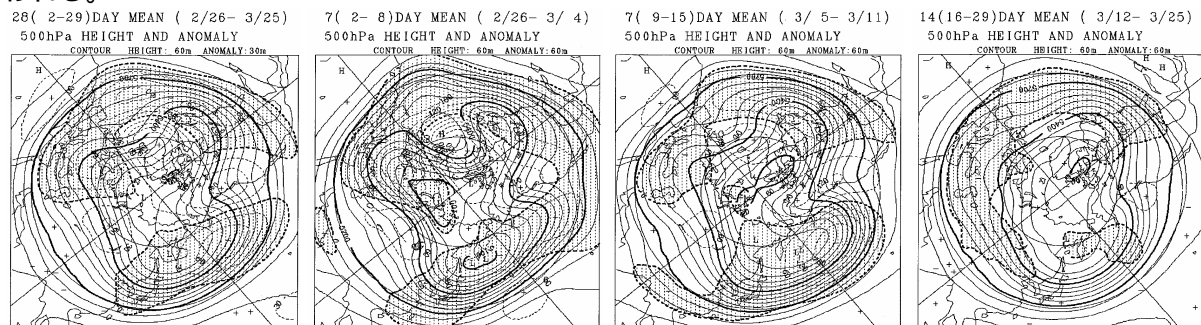


### 3．数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、バイカル湖の西とアラスカ付近で正偏差が強く、日本付近は日付変更線付近に中心をもつ負偏差に覆われる。日本付近には一時強い寒気が南下する見込み。

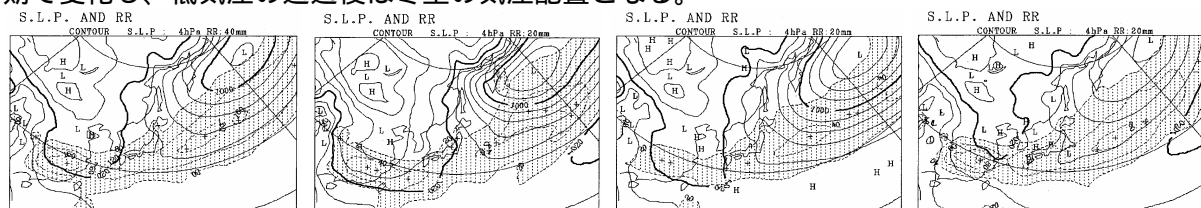
1 週目は日本付近はカムチャツカ半島の南に中心を持つ強い負偏差に覆われる。2 週目も日本付近は広く負偏差に覆われるが、負偏差は 1 週目より弱め。3～4 週目は日本付近は弱い正偏差に覆われる。



地上気圧と降水量：

月平均は冬型の気圧配置となるが、等圧線の間隔は広めで低気圧は数日の周期で通過する。日本の南海上にはまとまった降水域が見られる。

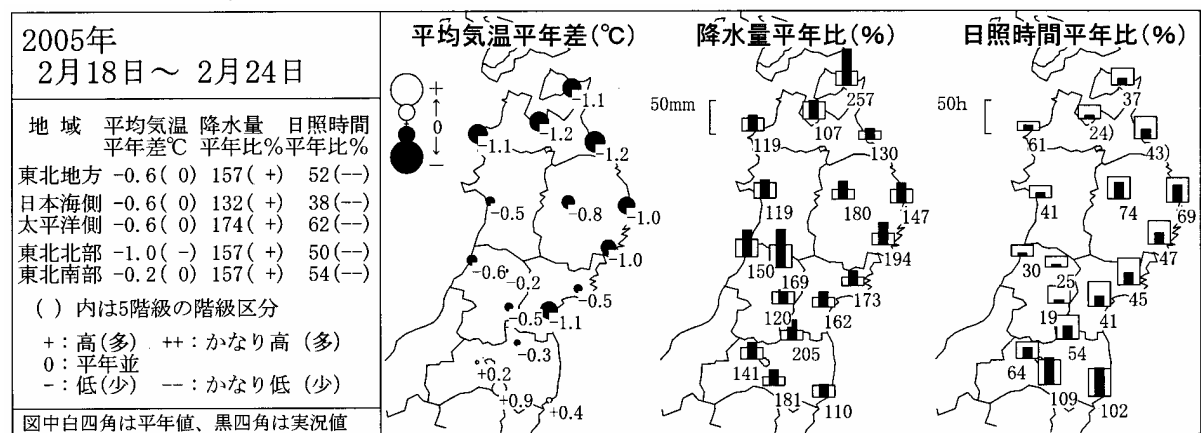
1 週目は月平均に比べて冬型の気圧配置が強く、一時強い寒気が入る見込み。2 週目も冬型の気圧配置が続くが、1 週目より弱い。3～4 週目は、さらに等圧線の間隔が広がる。天気は数日の周期で変化し、低気圧の通過後は冬型の気圧配置となる。



### 4．最近 1 週間（2 月 18 日～2 月 24 日）の天候の経過

19～20日は二つ玉低気圧の影響で東北地方は雨や雪となった。また、23日は日本海低気圧が発達しながら東北部を通過したため雪や雨となり、東北日本海側では暴風となるところがあった。低気圧の通過後は寒気が南下し、冬型の気圧配置となった。

平均気温は東北部で低く、東北南部で平年並。降水量は東北地方で多い。日照時間は東北地方でかなり少ない。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）